



校長だより

呉市立市阿賀小学校
安宗 誠



西日本豪雨災害の教訓を風化させない！！

西日本豪雨災害から3年目を迎えた昨日7月6日、本校でも、犠牲者のご冥福、今なお不便な生活を強いられている被災者へのお見舞い、災害の教訓を風化させない意識を新たにするため、当時の様子を振り返る時間をとり、1分間の黙祷を行いました。

災害の教訓を風化させないために、私自身、改めて自問自答していることは・・・。

まず、「最悪を想定する意識を持ち続けること」もっと言えば、「想定外を想定する想像力を持ち続けること」。3年前のあのときも、それまでに体験したことのないような激しい雨の振り方でした。あのとき、私自身、どんな「最悪」や「想定外」が想定できていたのか・・・。大災害という現実を突きつけられて3年が経過する今、私自身、あのときの教訓を肝に銘じながら、一瞬一瞬を過ごすことができているだろうか？ということ。

次に、「まわりに感謝の気持ちを持ち続けること」。被災した3年前、それまで普通に過ぎていっていた日常がどれほどありがたいことであったか。分かっていたつもりでも、実際に現実を突きつけられると・・・。あれから3年。その後、私自身は、人は一人では決して生きていけないということ。そして、ささいなことにも「ありがとう」の気持ちを持ち続けながら生活することができているだろうか？ということ。

以上のことについて、すべての阿賀っ子が意識できていますように・・・。

3年前のあの日・・・



阿賀地区で発生した土石流

自分やまわりの命を守るために、いつも最悪のことを想像しながら行動できるよう・・・。

いろいろな支援のおかげで・・・



他県から給水のために阿賀にかけつけてくださいました。

いつも、まわりに感謝の気持ちを持ちながら行動できるよう・・・。

「呉市災害記録誌」より

追悼の祈りを捧げます・・・(昨日)

